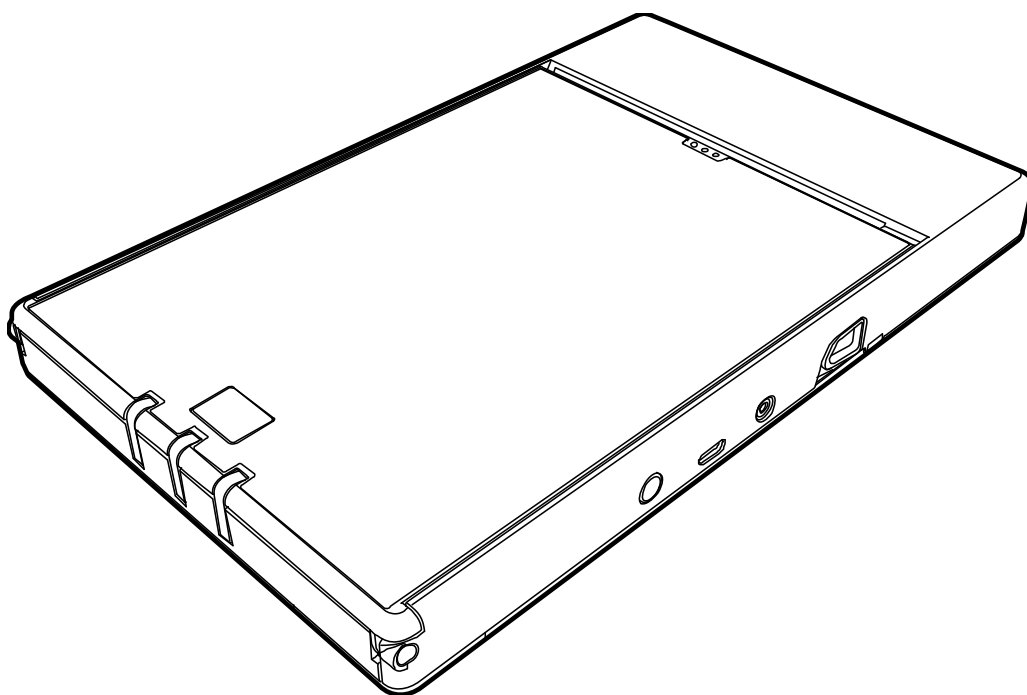


キヤノン モバイルプリンター BP-F600 使用説明書



このたびは、キヤノン モバイルプリンター BP-F600をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お客様へのお願い

この使用説明書（以下、本書）には、製品の特長を十分にご理解いただき、正しくお取り扱いいただくための、基本的な説明が記載されています。製品をご使用になる前に、必ずお読みください。また、本書はいつでも使用できるように、大切に保管してください。

- （１） 本製品を用いたシステムの運用結果につきましては、責任を負いかねます。
- （２） 本書の内容の一部または全部の無断転載は禁止されています。
- （３） 本書を作成するにあたっては万全を期しておりますが、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- （４） 本書の内容は、ソフトウェアの改訂などの理由により、予告なく変更されることがあります。

キヤノン電子株式会社

Copyright ©2019 CANON ELECTRONICS INC. All right reserved.

登録商標

- Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Android は、Google Inc.の商標です。
- Bluetooth®およびロゴは Bluetooth SIG の登録商標であり、キヤノン電子株式会社はライセンスに基づいて使用しています。
- その他、記載しているブランド及び製品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品を国外へ持ち出すときは

本製品には、無線通信モジュールが内蔵されています。

日本国以外では、その国や地域の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国や地域では、本製品を使用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本書では、説明文の簡略化のために次のように表現しています。

製品	同梱されています「モバイルプリンターBP-F600」「リチウムイオンバッテリーパック BA-30」「AC アダプター」「電源コード」「USB ケーブル」「USB 充電ケーブル」の 6 製品を指す場合に使用します。
本機	「モバイルプリンターBP-F600」を指す場合に使用します。
バッテリーパック	「リチウムイオンバッテリーパック BA-30」を指す場合に使用します。

1. 安全にお使いいただくために.....	5
1. 日常の取扱について.....	5
2. リチウムイオンバッテリーパックの取り扱いについて.....	7
3. バッテリーパックの交換時期について.....	8
4. バッテリーパックのリサイクルについて.....	8
5. 印刷用感熱紙について.....	9
6. 無線通信機能について.....	10
7. AC アダプターおよび電源コードについて.....	11
8. 良い状態で長期間ご使用いただくために.....	12
9. 耐環境性能について.....	12
10. 電波障害自主規制について.....	13
11. バッテリーパックおよび印刷用紙はキヤノン純正品をおすすめします.....	13
12. 保守および点検について.....	13
13. 廃棄について.....	13
14. ご不明な点や修理に関するご相談.....	13
2. ご使用の前に.....	14
1. はじめに.....	14
2. 本機の構成について.....	14
3. 各部の名称と機能について.....	15
4. ランプの点灯・点滅・消灯について.....	17
3. バッテリーパック.....	18
1. バッテリーパックの取り付け方法.....	18
2. バッテリーパックの取り外し方法.....	22
3. 電源のオン/オフ.....	23
電源をオンに切り替える.....	23
電源をオフに切り替える.....	23
4. 充電方法.....	24
1. AC アダプターを使っての充電方法.....	24
2. USB 充電ケーブルを使っての充電方法.....	25
5. Bluetooth の使用方法.....	26
1. Bluetooth について.....	26
1. セキュリティについて.....	26
2. 機器認定について.....	26
3. Bluetooth の仕様について.....	26
2. Bluetooth のペアリング方法.....	27
1. 本機のシリアル番号を確認する.....	27
2. 電源ボタンを押す.....	27
6. プリンターの使用方法.....	29
1. 使用できる紙について.....	29
2. 用紙カバーの開け方.....	29
3. 用紙のセット方法.....	30
4. 用紙の取り出し方法.....	31
5. 用紙カバーの閉じ方.....	32
6. 用紙カセットの用紙残量の確認方法.....	32
7. ペーパーガイドの使用方法.....	33
1. ペーパーガイドを取り付ける.....	33
2. ペーパーガイドを取り外す.....	34
3. 用紙の取出し方法.....	35

8. 用紙カセット部の清掃方法.....	36
1. センサーを清掃する.....	36
2. 用紙搬送ローラーを清掃する.....	36
7. こんなときは（Q&A）.....	37
8. 製品仕様.....	41
1. 本機の仕様.....	41
2. 同梱品および消耗品の仕様.....	42

1. 安全にお使いいただくために

電気製品は、正しく取り扱わないと思わぬ事故や火災、感電の原因になります。本製品は万全を期して設計されていますが、次の警告事項および注意事項は、必ずお守りください。また、本書に記載されていない操作は行わないでください。本書では、誤った使い方をしたときに生じる危険および損害の程度を、次のように区分しています。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

1. 日常の取扱について



警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。
- 製品をアルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに置かないでください。
- 製品の近くで可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 製品を湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- 製品の内部に、水、引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）などの液体や、金属片（クリップやステープラーの針など）、シャープペンシルの芯などの異物が入らないようにしてください。
- 製品の上に、液体の入った容器（コップ、花瓶、植木鉢など）やネックレスなどの金属物を置かないでください。
- 異常な音、煙、発熱、異臭や、電源を入れても機器が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに本機の電源をオフにし、バッテリーパックを本機から取り外してください。
- 製品を落とす、ぶつけるといった強い衝撃を与えないでください。
火災や感電の原因になります。
万が一、液体や異物が本機の内部に入ってしまった場合は、直ちに本機の電源をオフにし、バッテリーパックを本機から取り外してください。



警告

- 心臓ペースメーカーをご利用の方は、異常を感じたら直ちに本機の使用を中止し、医師に相談してください。
本機は微弱な磁気を出しています。
- 可燃性蒸気の発生する場所では使用しないでください。
本機は防爆仕様ではありません。

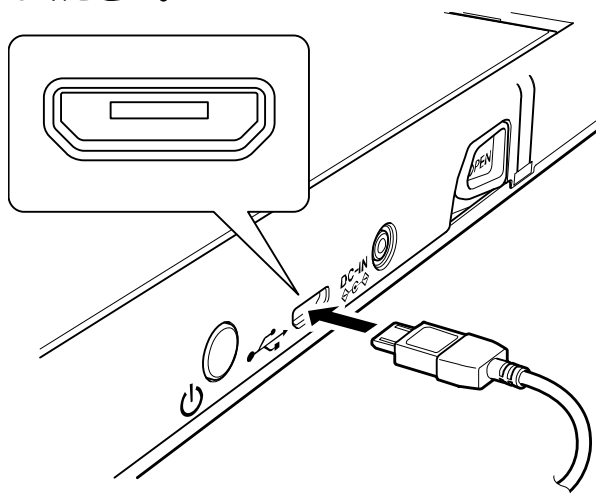


注意

- 本機を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や、振動の多い場所には置かないでください。
- 本機の上に重いものを載せないでください。
本機や載せたものが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

注意

- 付属の USB ケーブルは、本機の microUSB インターフェイス以外には接続しないでください。
- 付属の USB ケーブル以外は、本機の microUSB インターフェイスには接続しないでください。
- 付属の USB 充電ケーブルの電源プラグおよび AC アダプターの電源プラグは、本機のチャージコネクタ以外には接続しないでください。
- 付属の USB 充電ケーブルの電源プラグおよび AC アダプターの電源プラグ以外は、本機のチャージコネクタには接続しないでください。
本機や端子、USB コネクタや電源プラグが破損したり故障する原因となります。
- 本機の microUSB インターフェイスに USB コネクタを接続する場合は、USB コネクタの種類が microB タイプであることを確認してください。
- 本機のチャージコネクタに AC アダプターまたは USB 充電ケーブルの電源プラグを差し込むときは、まっすぐ抜き差ししてください。
- microUSB インターフェイスや USB コネクタ、チャージコネクタ、電源プラグに不必要な力をかけないでください。
- 本機の microUSB インターフェイスに USB コネクタを差し込むときは、上下が逆になっていないことを確認し、向きを合せて正しい方向でまっすぐ抜き差ししてください。

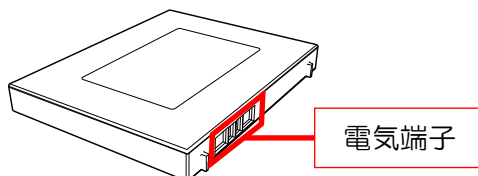


2. リチウムイオンバッテリーパックの取り扱いについて



警告

- リチウムイオンバッテリーパック（以下、バッテリーパック）を分解しないでください。
- バッテリーパックに強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- バッテリーパックに水をかけないでください。
- バッテリーパックの電気端子を、金属などでショート（短絡）させないでください。



- 指定のバッテリーパック（BA-30）以外は使用しないでください。
- バッテリーパックを指定の機器以外に使用しないでください。
- バッテリーパックを機器に取り付けるときは、電気端子の向きに注意して取り付けてください。
- バッテリーパックを充電するときは、必ず指定の充電器で充電してください。
- 高温（50℃以上）の場所に放置しないでください。

バッテリーパックの破裂や液もれにより、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。万が一、バッテリーパックからもれた液（電解液）が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水でよく洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。また、電解液が手や衣服などについてしまった場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

- バッテリーパックを火中に投じないでください。
爆発して、火災やけなどの原因になります。
- バッテリーパックを保管、充電、使用しているときに、異臭、変色、変形などが生じたときは、すぐに充電および使用を中止してください。

注意

- 本機の主電源であるバッテリーパックは、消耗品であり使用するにつれてフル充電の状態で使用できる時間が短くなります。この現象はバッテリーパックの特性によるもので、異常や故障ではありません。
- 冬の屋外などの低温環境では、バッテリーパックの容量が低下するため、運用時間が短くなります。
- バッテリーパックは未使用のものでも時間の経過によって劣化します。1年以上経過したバッテリーパックは容量低下が確認されます。
- バッテリーパックの充電の際は、十分に換気に配慮してください。保管庫やキャビネットなど熱のこもりやすい環境で充電する場合は、バッテリーパックの充電容量の低下が早まり、電池寿命が短くなります。換気を行ない熱がこもらないようにしてください。

3. バッテリーパックの交換時期について

注意

- バッテリーパックには寿命があります。定期的に新しいバッテリーパックに交換・お買い求めいただくことをお勧めします。
- バッテリーパックの寿命は使用環境により変わりますが、目安は使用開始から 1.5 年または充電・放電の繰り返し約 300 回を過ぎた時点です。ただし、実際に使用環境や使用状況によってバッテリーパックの寿命は変わります。
- バッテリーパックをお買い求めの際は、同じ品番のバッテリーパック（BA-30）をご指定ください。

4. バッテリーパックのリサイクルについて



この製品には、リチウムイオンバッテリーパックを使用しています。リチウムイオンバッテリーパックはリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れて下さい。

リチウムイオンバッテリーパックの回収についてのお問い合わせは、以下へお願いいたします。

- ◆ 製品、リチウムイオンバッテリーパックをご購入いただいた販売店
- ◆ 一般財団法人 JBRC
<http://www.jbrc.com/>

※ 使用済みバッテリーパックは、以下の点に注意してください。

- バッテリーパックの外装カバー（被覆・チューブなど）を剥がさないで下さい。
- バッテリーパックを分解しないで下さい。

5. 印刷用感熱紙について

注意

- 用紙はご購入後 1 年以内に使用してください。
- 開封後の用紙は、なるべく早くご使用ください。
- 未使用の用紙は、必ず封入されていた袋に入れて密閉してください。
- 高温、高湿、低湿、直射日光、ほこりを避けて保管してください。
用紙が変形したり、丸くカールしたり、変色してしまったりするおそれがあります。
変形していたり、丸くカールした用紙を使用した場合に、紙詰まりなどのトラブルの原因になりますので、取り扱いにはご注意ください。
- 用紙に印字した内容を長期間保管する場合には、必ずコピー機でコピーするなどに対応してください。
感熱紙は印刷後の保存状態によっては用紙全体が変色してしまい、印刷内容を判読できなくなってしまうことがあります。
- 用紙に摩擦熱を加えないでください。
- 用紙に消しゴムや粘着テープ、軟質塩化ビニール製品と密着させないでください。
- 用紙にエタノールを付着させないでください。
- 皮革製品、ハンドクリーム、整髪料、化粧品を接触させないでください。
発色・変色・退色の原因となります。
- 用紙に蛍光ペンや油性マーカーなどで記入した場合に、用紙が変色してしまう可能性があります。
- 用紙に朱肉やスタンプインキ等を付けた場合に、それらが乾燥するまで時間がかかります。
- 水濡れを避けてください。
退色の原因となります。
- 強く折らないでください。
発色してスジが残ることがあります。
- 本機にぬれた用紙をセットしないでください。
本機が故障する原因となります。

6. 無線通信機能について



警告

本機には無線通信機能が内蔵されています。無線通信機能で使用する電波により医療機器や各機器に影響を及ぼし重大な事故の原因となる恐れがあります。以下の場所では無線通信機能を使用しないでください。

- 心臓ペースメーカーをお使いの方は、無線通信機能を使用しないでください。

無線通信に使用する電波が心臓ペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

- 心臓ペースメーカー等の医療機器を使用されている人の近くでは、無線通信機能を使用しないでください。

- 病院などの医療機関内や医療用電気機器の近くでは無線通信機能を使用しないでください。

無線通信に使用する電波が心臓ペースメーカーなどの動作に影響を与える恐れがあります。ご利用に関しては各医療機関へお問い合わせください。

- 航空機内で無線通信機能を使用しないでください。

無線通信に使用する電波が航空機内の精密機器へ影響を及ぼし、誤動作による重大事故の原因になる恐れがあります。

- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは無線通信機能を使用しないでください。

無線通信に使用する電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になる恐れがあります。



注意

- 電波に関するご注意

この機器の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器や、ほかの同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「ほかの無線局」）が運用されています。

下記の点に注意してご使用ください。

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。停止後、販売店または担当営業までご連絡をいただき、混信回避のための処置等（例：パーティションの設置等）についてご相談ください。
3. その他、この機器から「ほかの無線局」に対して電波干渉の事例が発生した場合など、お困りの事態が発生した時には、お買い上げの販売店または担当営業までご確認ください。

7. AC アダプターおよび電源コードについて



警告

- AC アダプターおよび電源コードを AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。
- 電源コードを束ねたり、結んだ状態で使用しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
- 電源コードに重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
- 電源コードを使用するときはタコ足配線をしないでください。
- AC アダプターおよび電源コードを分解、改造しないでください。
- 電源コードの電源プラグは奥まで確実に差し込み、電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。
- コンセントから電源コードの電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。

火災や感電の原因となります。

- 付属の電源コードや AC アダプター以外は使用しないでください。
- 付属の電源コードや AC アダプターを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードの電源プラグは定期的に点検を行い、乾いた布などでほこりを取り除いてください。

火災の原因となります。

- AC アダプターおよび電源コードを屋外で使用しないでください。

漏電や感電の原因となります。

- コンセントの周りに物を置かないでください。

非常時に電源コードを抜くことができず、火災の原因となることがあります。

- ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

注意

- AC アダプターを使用しないときは、安全のため電源コードを機器およびコンセントから抜いてください。
- 延長コードを使用する場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- バッテリーパックの充電は、5℃～40℃の温度範囲で行うことができます。ただし、バッテリーパックの性能を最大限に発揮させるために、10℃～30℃の温度範囲内で充電することをお勧めします。
- 使用中に異状が発生すると、保護回路が働いて AC アダプターが正しく動作しないことがあります。その場合は、電源プラグをコンセントから抜き、2～3 分後にもう一度コンセントに差し込んでください。（元に戻らない場合は故障です。）
- 使用中に、AC アダプターが温かくなりますが、故障ではありません。
- テレビの近くで AC アダプターを使用すると、テレビ放送の画面にノイズが出る場合があります。AC アダプターをテレビやアンテナケーブルから離してご使用ください。
- 使用中は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 長時間ご使用にならない場合は、コンセントから電源コードの電源プラグを抜いてください。

8. 良い状態で長期間ご使用いただくために

本機は精密な電子部品で構成されています。より良い状態で長期間ご使用いただくため、次の事項をお守りください。

- 直射日光が当たる場所で長時間使用しないでください。また、直射日光が当たる車内など、高温になる場所で使用したり保管しないでください。
- 急激な温度変化がある場所で使用しないでください。特に寒冷地など、室温と外気の温度差が大きい場所を移動したり、冷え切った部屋を急激に暖めた場合などは、機器内部に結露（水滴）が生じることがあります。このようなときは、水滴が自然に蒸発するまで、本機の使用を控えてください。
- 使用時の温度範囲は 0℃～40℃を、湿度範囲は 10%～80%を目安にしてください。ただし、結露している場合は、水滴が自然に蒸発するまで、本機の使用を控えてください。
- 保管時の温度範囲は -10℃～50℃を、湿度範囲は 10%～80%を目安にしてください。ただし、結露している場合を除きます。
- 本機を水にぬれたまま放置しないでください。本機が水にぬれた場合は、乾燥したやわらかい布で水分を拭き取ってください。本機をぬれたまま放置すると誤動作や故障の原因となることがあります。
- 製品に磁石を近づけたり、テレビやラジオなど強い磁界を発生するものの近くで使用しないでください。製品の動作に悪影響を与えることがあります。
- 製品の上に物を載せないでください。
- たたいたり、落としたり、ぶつけたりして、製品に衝撃を与えないでください。

9. 耐環境性能について

本機の耐環境性能はお客様への販売時点におけるものであり、本機の使用・保管の環境や本機への衝撃・摩擦・経年劣化などにより低下しますので、ご了承ください。また、本機の耐環境性能は当社試験方法による試験値であり、無破損・無故障を保証するものではありません。本機の耐環境性能を保持するために、次の注意事項をお守りください。

- 本機がぬれているときや水辺など水が飛びやすい場所では USB プラグや AC アダプターの電源プラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた手でバッテリーパックの交換を行わないでください。
- 使用上の不注意により本機内部に水が浸入した場合、保証の対象となりませんのでご注意ください。

10. 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

11. バッテリーパックおよび印刷用紙はキヤノン純正品をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用バッテリーパックおよび印刷用紙と組み合わせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正の専用バッテリーパックおよび印刷用紙のご使用をおすすめします。

なお、純正品以外のバッテリーパック（リフレッシュバッテリーや純正品のセルを交換したバッテリーパックを含みます）の不具合（たとえばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

12. 保守および点検について

- 本機を清掃するときは、本機の電源をオフにしてください。火災や感電の原因となります。

13. 廃棄について

- 本機や本機の周辺機器を廃棄する際には、必ず法律や地域の条例に従って廃棄してください。ご不明な点はお買い上げの販売店または担当営業へお問い合わせください。
- 本機で使用しているバッテリーパックは、貴重な資源を使用しており、この貴重な資源はリサイクルして再利用することができます。不要となったバッテリーパックのリサイクルについては、「■リチウムイオンバッテリーパックのリサイクルについて」（p.8）をご確認ください。

14. ご不明な点や修理に関するご相談

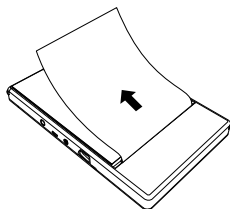
本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）および消耗品の最低保有期間は、製造終了後 5 年です。

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせください。

2. ご使用の前に

本機をご使用の前に、構成品と各部の名称と機能を確認してください。

1. はじめに

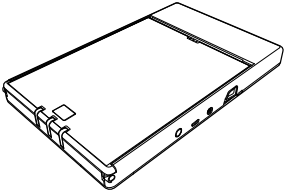
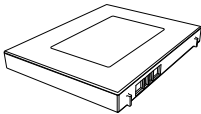
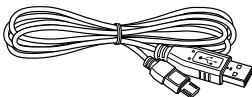
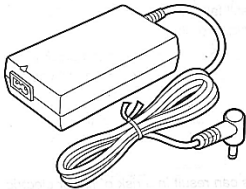
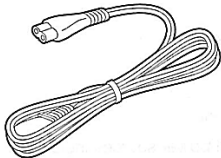
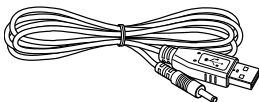
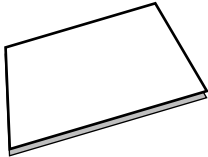


初めてお使いになるときは、プリンターに「この用紙を引き抜いてからご使用ください」と書かれた紙を挟んでいます。

ご使用の前に、この用紙を左図のように破れないようにゆっくりと引き抜いてください。

2. 本機の構成について

本機をご使用になる前に、次の機器と付属品が入っていることを確認してください。

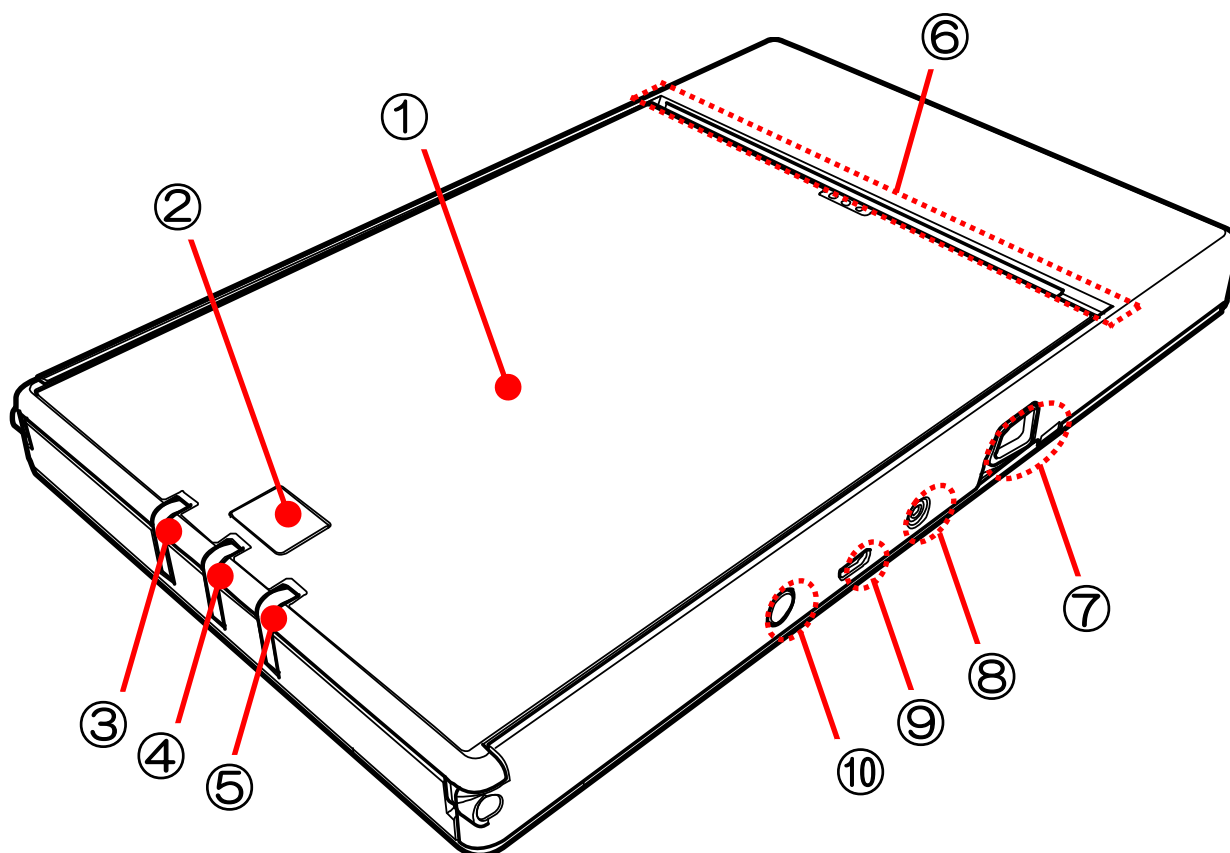
		
プリンター本体 BP-F600	バッテリーパック BA-30	USB ケーブル (A-MicroB タイプ)
		
AC アダプター	AC 電源コード	USB 充電ケーブル (A-AC アダプター口)
		
ユーザーズガイド		

メモ

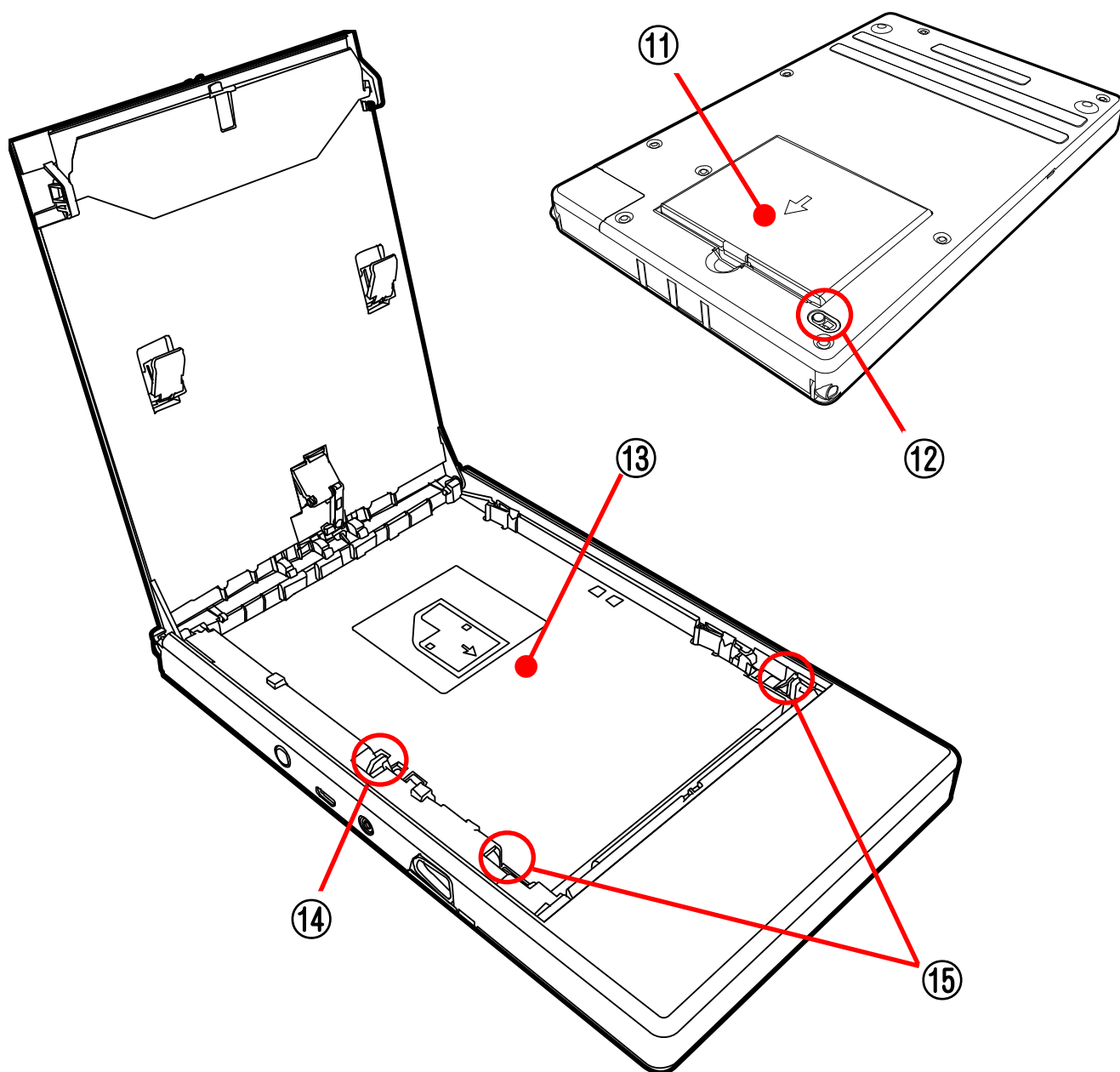
- 本機には仕様に合わせたバッテリーパック (BA-30) が同梱されています。バッテリーパックをお買い求めの際は、必ず同じ品番のバッテリーパックを指定してください。

3. 各部の名称と機能について

本機の各部の名称と機能は次のとおりです。



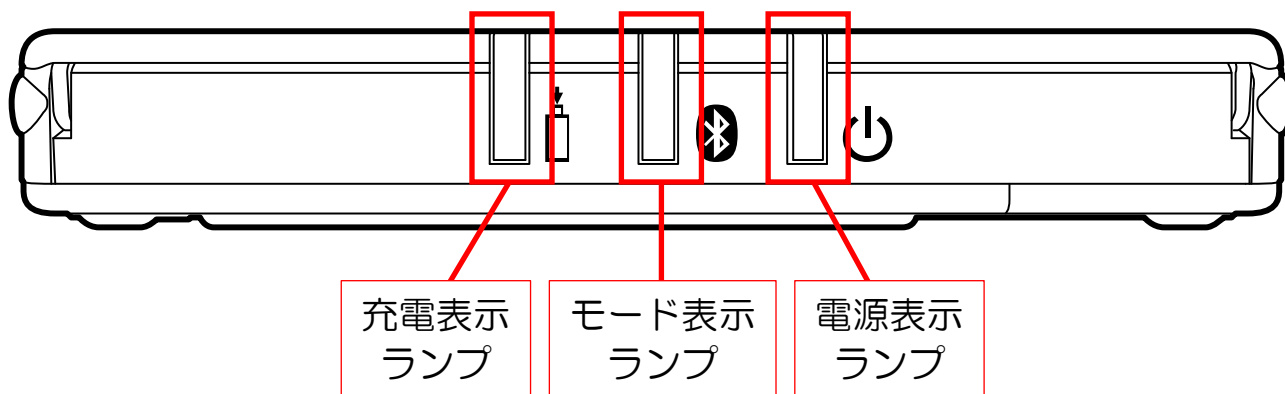
No.	名称	機能
①	用紙カバー	用紙カセット部のカバーです。
②	用紙確認窓	用紙の残量を確認するための窓です。
③	充電表示ランプ	充電状態を示すランプです。
④	モード表示ランプ	本機の状態を示すランプです。
⑤	電源表示ランプ	電源状態を示すランプです。
⑥	用紙排出口	印刷された用紙が排出されます。
⑦	用紙カバーロック解除レバー	用紙カバーを開けるときに使用します。
⑧	チャージコネクター	付属の AC アダプターまたは USB 充電ケーブルのプラグを接続します。
⑨	USB インターフェイス	付属の USB ケーブルを接続します。
⑩	電源ボタン	電源のオン・オフを切り替えるときに使用します。



No.	名称	機能
⑪	バッテリーカバー	本機に取り付けられたバッテリーパックのカバーです。
⑫	バッテリーカバーロック	バッテリーカバーをロックします。
⑬	用紙カセット部	用紙をセットする場所です。
⑭	用紙取出しレバー	セットした用紙を取り出すときに使用します。
⑮	ヘッド・ローラー 分離レバー	サーマルヘッドとプラテンが密着して用紙が搬送されにくくなった場合に使用します。

4. ランプの点灯・点滅・消灯について

本機の天面に配置しているランプの点灯・点滅・消灯状態について説明します。



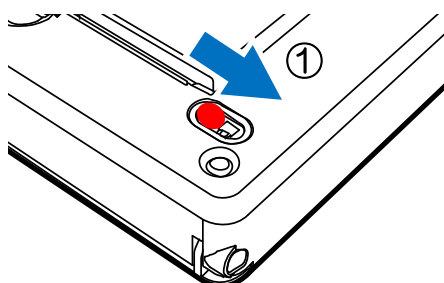
	色	状態	
充電表示 ランプ	オレンジ	点灯	充電中
	緑	点灯	充電完了
		消灯	充電中エラー
モード表示 ランプ	青	点灯	Bluetooth 通信可能
		点滅	① Bluetooth でホスト機器から印刷データの受信 ② Bluetooth で受信したデータの印刷中
	緑	点灯	USB 通信可能 ※
		点滅	① USB ケーブルでホスト機器から印刷データの受信 ② USB ケーブルで受信したデータの印刷中
	赤	点灯	エラー発生時
		消灯	電源オフ
電源表示 ランプ	青	点灯	電源オン
		5秒ごとに 2回点滅	バッテリーの残り容量が30%以下
		連続点滅	要充電
		消灯	電源オフ

※専用ドライバーをインストールしたホスト機器と本機をUSBケーブルで接続した状態

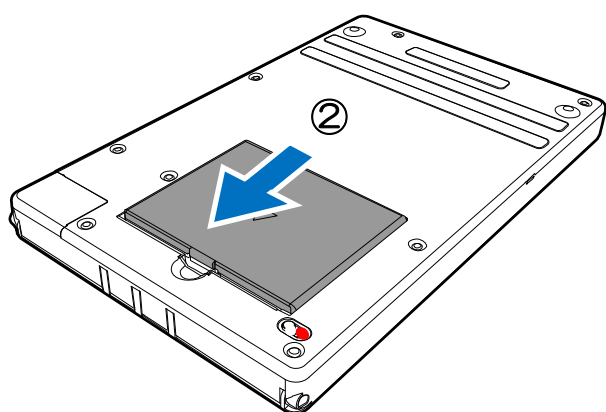
3. バッテリーパック

この章では、本機の主電源であるバッテリーパックBA-30について説明します。

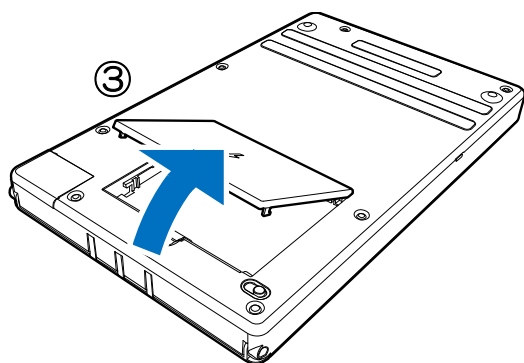
1. バッテリーパックの取り付け方法



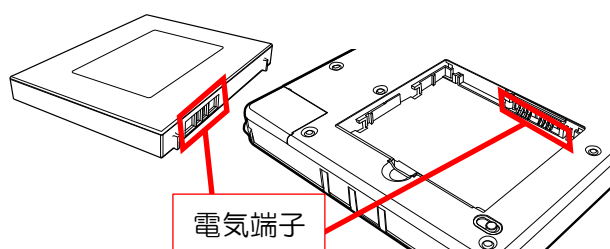
- ① バッテリーカバーロック（以下、ロック）を矢印の方向にスライドしてください。



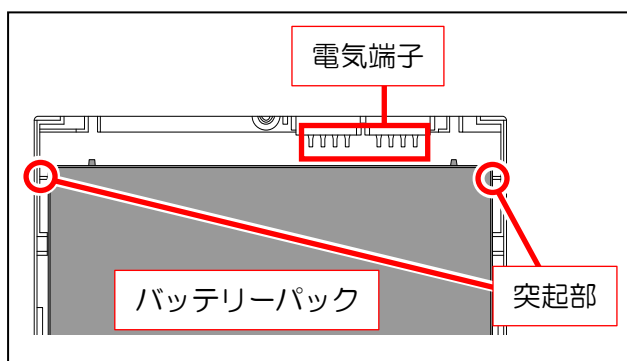
- ② ロックを①の方向にスライドしたまま、バッテリーカバーを矢印の方向にスライドしてください。



- ③ 指をかけてバッテリーカバーを開いてください。



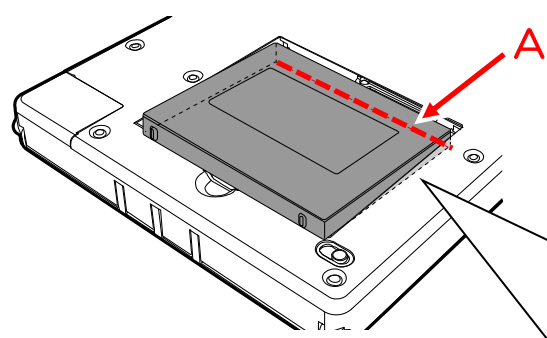
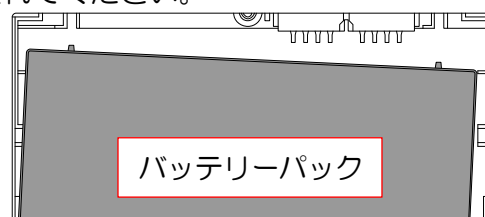
- ④ 電気端子の位置を確認してください。



- ⑤ 本機とバッテリーパックの双方の電気端子を向かい合わせて、バッテリーパックを収納部にまっすぐ置いてください。このときにバッテリーパックの両端が、左図に示した本機の突起部より電気端子に近くなるようにしてください。

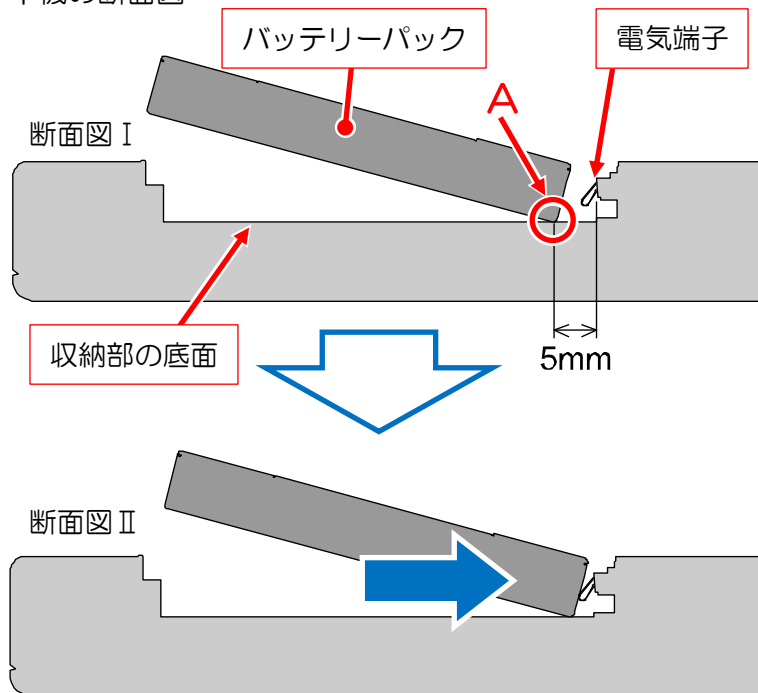
注意

下図で示すように、バッテリーパックを収納部に対して斜めになってしまわないように入れてください。



- ⑥ 左下の断面図Ⅰで示しているように、バッテリーパックの電気端子側の辺 A が、バッテリーパック収納部の底面に接するように置いてください。

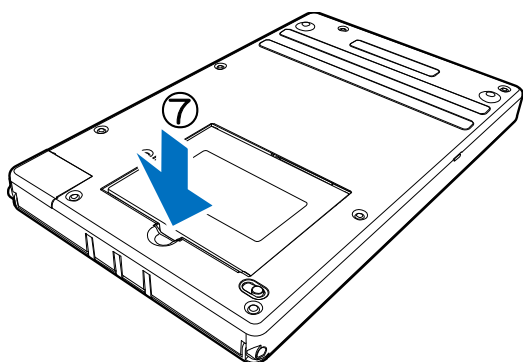
本機の断面図



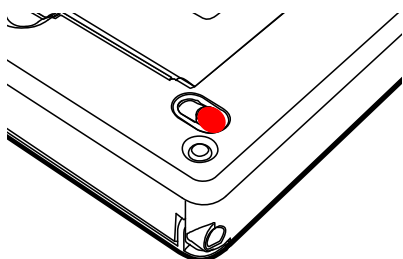
※ 重要

断面図Ⅰのように、本機の電気端子から 5mm ほど離れた位置を目安に、バッテリーパックの辺 A と収納部の底面が接するように置いてください。

次に、辺 A が底面に接した状態で、断面図Ⅱのようにバッテリーパックを本機の電気端子の方向にスライドさせてください。

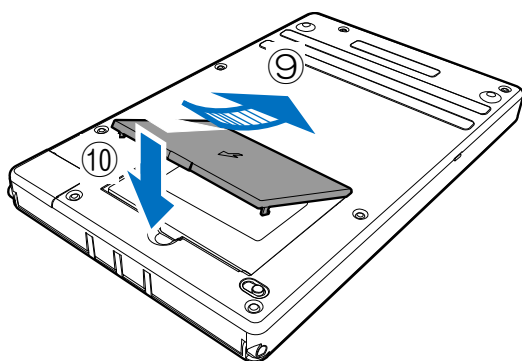


- ⑦ バッテリーパックを矢印の方向へしっかりとはめ込んでください。



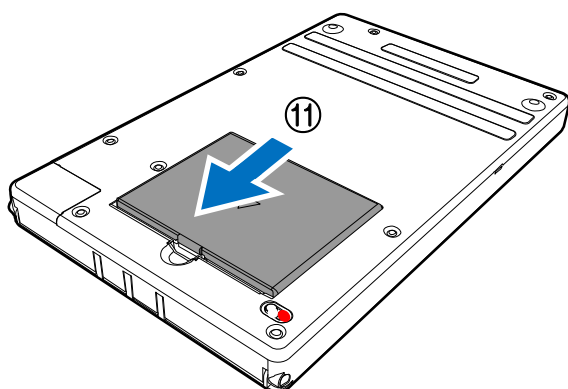
- ⑧ バッテリーカバーを取り付ける前に、ロックが左図のように左側にスライドされていることを確認してください。

* ロックが右側にスライドしていた場合は、左側にスライドしてください。

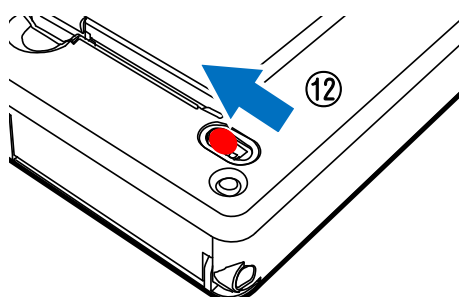


- ⑨ ロックを⑧の方向にスライドしたまま、矢印の方向にバッテリーカバーを差し込んでください。

- ⑩ バッテリーカバーを矢印の方向にしっかりとはめ込んでください。



- ⑪ バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせてください。



- ⑫ 最後にロックを矢印の方向へスライドしてください。

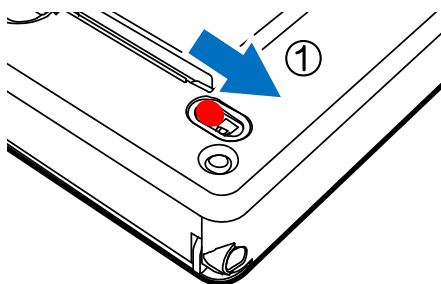
重要

- 充電は不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や、振動の多い場所では行なわないでください。
- バッテリーパックには、本機の電源がオフになった状態でも少しずつ放電が進んでしまう特性があります。長い期間保管される場合でも、1ヶ月に1回以上はバッテリーパックをフル充電するようにしてください。長い期間充電せずに放電が進んでしまったバッテリーパックは、充電できなくなってしまうことがあります。
- バッテリーパックを本機に取り付けずに、AC アダプターまたは USB 充電ケーブルを本機に接続しないでください。バッテリーパックを本機に取り付けずに、AC アダプターまたは USB 充電ケーブルを本機に接続しても、本機の使用はできません。
- バッテリーパックの充電は、5℃～40℃の環境下で行なってください。この温度範囲外では充電が停止する場合があります。なお、バッテリーパックの性能を最大限に発揮させるためには、10℃～30℃の温度範囲内で充電する事をおすすめします。充電時間は周囲の温度やバッテリーパックの状態により多少変動します。
- バッテリーパックを初めてお使いになるときは、十分に充電しても使用できる時間が短くなってしまうことがあります。これは、バッテリーパックの特性のためで、異常や故障ではありません。数回充放電を繰り返しているうちに、所定の時間使用できるようになります。
- バッテリーパックが充電中に多少熱をおびたり、若干ふくらんだりする場合がありますが、これはバッテリーパックの特性によるもので、異常や故障ではありません。
- バッテリーパックの充電中に異常を検出した場合には、本機の充電表示ランプがオレンジ色に点滅します。充電表示ランプがオレンジ色に点滅した場合は、本機から AC アダプターまたは USB 充電ケーブルのプラグを本機から取り外してください。再度プラグを本機に接続しても充電表示ランプがオレンジ色に点滅した場合は、本機もしくはバッテリーパック、または AC アダプターまたは USB 充電ケーブルに異常が発生している可能性がありますので、お買い上げの販売店または弊社担当営業へお問合せください。
- AC アダプターまたは USB 充電ケーブルを本機に接続している状態で、本機からバッテリーパックを取り外さないでください。充電中の異常として本機の充電表示ランプがオレンジ色に点滅する場合があります。本機からバッテリーパックを取り外す前に、必ず AC アダプターまたは USB 充電ケーブルを取り外してください。

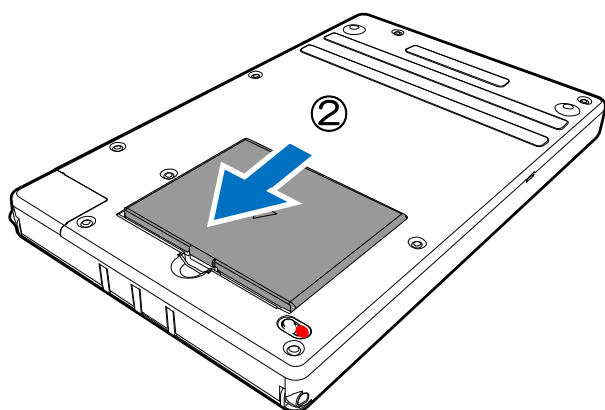
メモ

- フル充電になる前のバッテリーパックであっても、必要なときに使用することができます。
- 長い期間本機に取り付けられたまま使用されない状態が続いたバッテリーパックは、すぐには充電が始まらない場合があります。

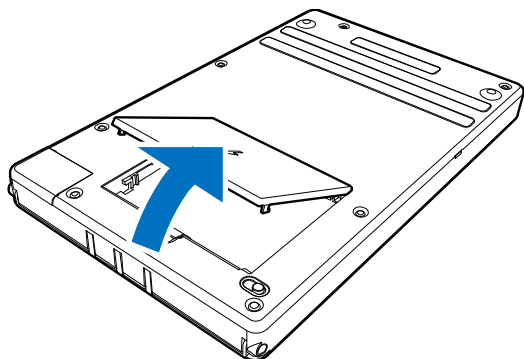
2. バッテリーパックの取り外し方法



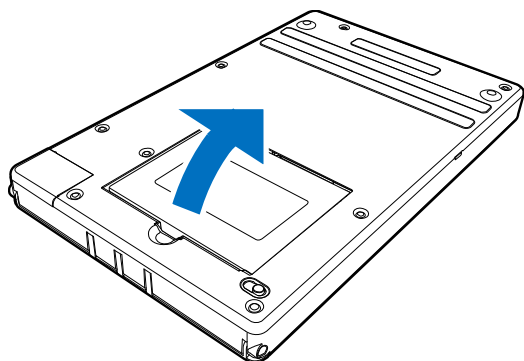
- ① バッテリーカバーロック（以下、ロック）を矢印の方向にスライドしてください。



- ② ロックを①の方向にスライドしたまま、バッテリーカバーを矢印の方向にスライドしてください。



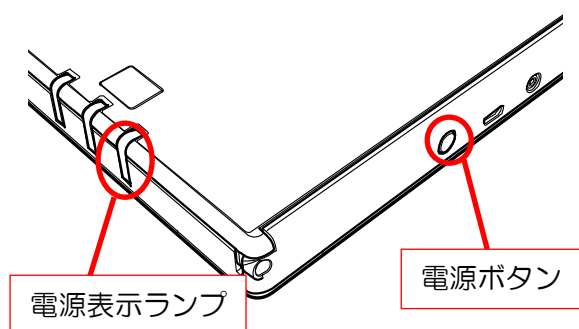
- ③ 指をかけてバッテリーカバーを開いてください。



- ④ 指をかけてバッテリーパックを取り外してください。

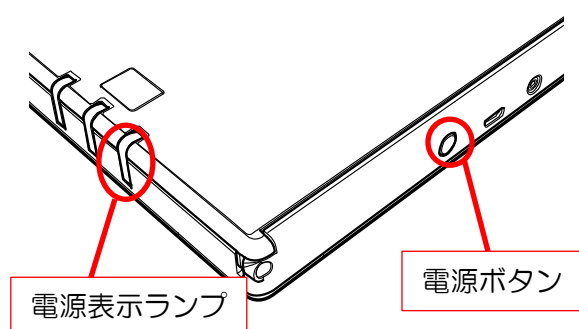
3. 電源のオン／オフ

電源をオンに切り替える



- ① 側面の電源ボタンを約1秒間押してください。
- ② 天面の電源表示ランプが青色に点灯していることを確認してください。
(左図の右側のランプ)

電源をオフに切り替える



- ① 側面の電源ボタンを約1秒間押してください。
- ② 天面の電源表示ランプが消灯していることを確認してください。
(左図の右側のランプ)

色	発光状態	動作の状態	
青	点灯	電源オン	本機の電源がオンに切り換わったことを表わしています。
	5秒ごとに2回点滅	バッテリーの残り容量が30%以下	取り付けられているバッテリーパックの容量が少なくなってきました。 ACアダプターまたは、USB充電ケーブルでの充電もしくは充電された電池との交換を行ってください。(p.22)
	連続点滅	要充電	取り付けられているバッテリーパックの容量がほとんどありません。 速やかにACアダプターまたは、USB充電ケーブルでの充電もしくは充電された電池との交換を行ってください。(p.22)
	消灯	電源オフ	本機の電源がオフに切り換わったことを表わしています。

重要

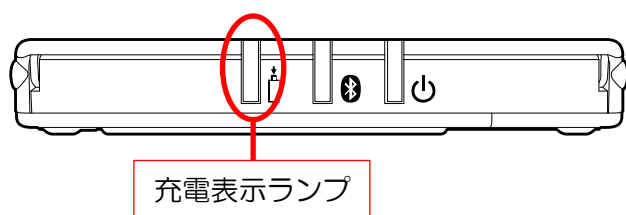
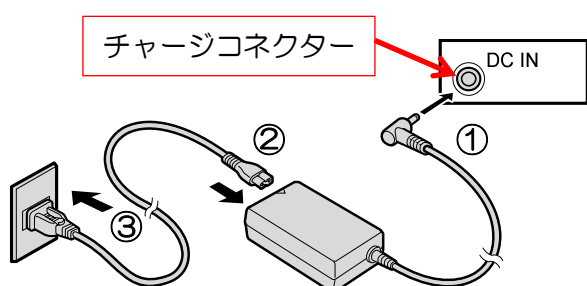
- 本機の電源のオン／オフの切り替えを短い時間で頻繁に行なわないでください。誤動作や故障の原因になることがあります。

4. 充電方法

重要

- 本機の電源がオン状態のままで充電しても満充電にはなりません。
- 本機の印刷中は充電が一時停止しますが、印刷後に充電が再開されます。
- 放電が進んでしまったバッテリーパックは、充電を開始した直後に充電表示ランプがオレンジ色に点滅する場合があります。そのまま約 10 秒間たってもオレンジ色の点灯に切り換わらない場合は、バッテリーパックの故障、もしくは寿命です。

1. AC アダプターを使っでの充電方法

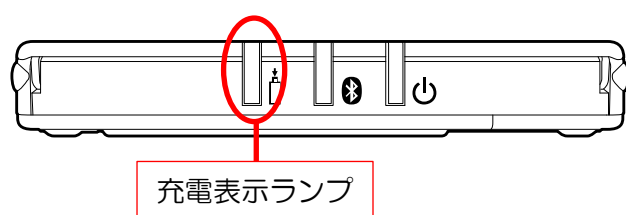
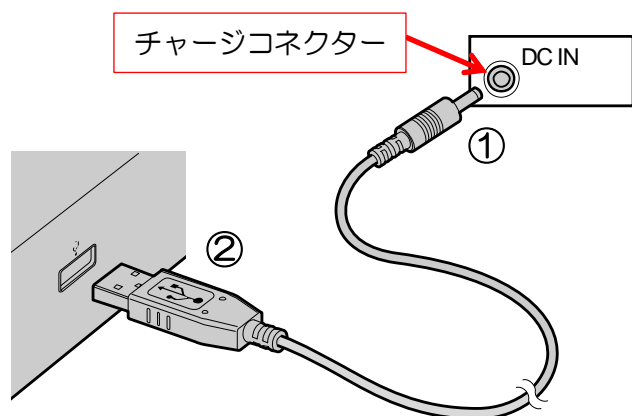


- ① AC アダプターの電源プラグを本機のチャージコネクタに接続してください。
- ② 電源コードを AC アダプターに接続してください。
- ③ 電源コードの電源プラグをコンセントに接続してください。
- ④ 充電表示ランプを確認してください。

色	発光状態	本機の状態
オレンジ	点灯	充電中
	点滅	エラー状態
緑	点灯	充電完了

- ⑤ 充電表示ランプが緑色に点灯したら、本機から AC アダプターを取り外してください。

2. USB 充電ケーブルを使っでの充電方法



① USB 充電ケーブルのプラグを本機のチャージコネクタに接続してください。

② USB ポートに USB 充電ケーブルを接続してください。

③ 充電表示ランプを確認してください。

色	発光状態	本機の状態
オレンジ	点灯	充電中
	点滅	エラー状態
緑	点灯	充電完了

④ 充電表示ランプが緑色に点灯したら、本機から USB 充電ケーブルを取り外してください。

※ 重要

- USB ハブを経由した USB ポートに USB 充電ケーブルを接続した場合には、充電ができない可能性があります。

5. Bluetooth の使用方法

この章では、本機のBluetooth通信の使用上の注意事項について説明します。

1. Bluetooth について

本機にはBluetooth機能が搭載されています。Bluetooth規格に対応したスマートデバイスとワイヤレスでの通信が可能です。

1. セキュリティについて

本機にはセキュリティのためにPINコード（認証番号）が設定されています。
他のBluetooth機器から本機に対して接続する場合は、PINコードが必要です。お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、お客様の必要に応じて番号を変更することができます。
※PINコードにつきましては、別途提供のツールを使って設定を変更することができます。

2. 機器認定について

本機は以下の電波法に基づく技術基準適合認定を受けた無線モジュールを使用しています。

型式名： MBH7BTZ50
認証番号： 001-A00213

3. Bluetooth の仕様について

周波数帯域	2.4GHz 帯（2400～2483.5MHz）
変調方式	FH-SS 方式（周波数ホッピング方式-スペクトラム拡散）
対応規格	Bluetooth 標準規格 Ver. 2.1 +EDR
出力クラス	Power Class 2
対応プロトコル	SPP / iAP2
通信速度	最大約 2.1Mbps*1

*1 電子レンジや無線LAN機器等のBluetoothと同じ周波数の電波を使用している機器の近くでは、接続ができなかったり通信速度が遅くなったりする場合があります。



Bluetooth 機能は、すべての Bluetooth 機器との通信を保証するものではありません。

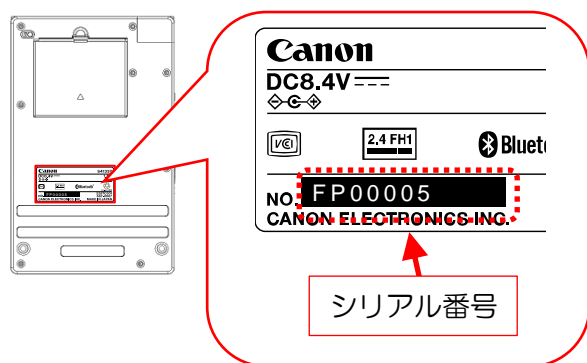
2. Bluetooth のペアリング方法

本機のデバイス名は[Canon BP-F600_****]で表示されます。

[Canon]と[BP-F600]の間に半角スペースがあり、[BP-F600]と[****]の間にアンダーバー[_]があります。

[****]は5桁の数字で構成されています。5桁の数字は本機のシリアル番号の末番5桁の数字です。まずは、お使いになる本機のシリアル番号をご確認ください。

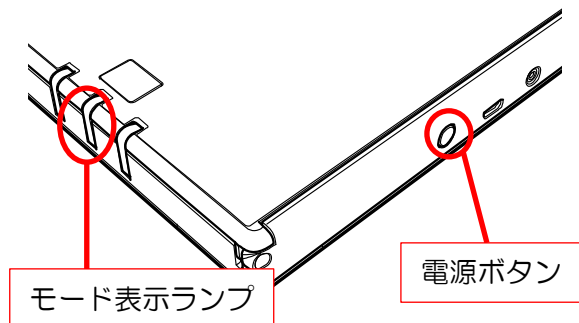
1. 本機のシリアル番号を確認する



本機の裏面にアルファベット 2 文字と数字 5 桁で構成されたシリアル番号が表示されています。

例：左図のように、
シリアル番号[FP00005]の機体は、
デバイス名が[Canon BP-F600_00005]
になります。

2. 電源ボタンを押す



- ① 側面の電源ボタンを押してください。
- ② モード表示ランプが青色に点灯していることを確認してください。
モード表示ランプが青色に点灯していれば、スマートデバイス側で検出可能な状態になっています。

重要

- ペアリングしたスマートデバイスによっては、ペアリング後に[接続]操作が必要な場合があります。お使いのスマートデバイスの取扱説明書をご確認ください。
- OS のバージョンやスマートデバイスの設定などにより、ペアリング方法が変わる場合があります。本書記載のペアリング方法ではペアリングできない場合は、お使いのスマートデバイスの取扱説明書や各 OS のインターネットサイトをご確認ください。

Android 機器のペアリング方法

1. [設定]アイコンを選択します。

[設定]画面が表示されます。

2. [Bluetooth]を選択します。

[Bluetooth]画面が表示されます。Bluetooth が[ON]になっていない場合は、[ON]に切り替えてください。

つづいて、本機のデバイス名[Canon BP-F600_*****]が表示されるまで待ちます。表示されない場合は、本機の電源を入れ直し、機器の設定をやり直してください。

3. [Canon BP-F600_*****]を選択します。

機器の画面に本機のデバイス名[Canon BP-F600_*****]が表示されましたら、そのデバイス名を選択してください。これでペアリングは完了です。

Windows 機器のペアリング方法

1. Windows 機器の Bluetooth をオンにします。

画面左下の[スタート]ボタンを選択し、[設定]→[デバイス]→[Bluetooth]の順に選んでください。

[Bluetooth]画面が表示され、本機のデバイス名[Canon BP-F600_*****]が表示されるまで待ちます。なかなか表示されない場合は、本機の電源を入れ直し、機器の設定をやり直してください。

2. [Canon BP-F600_*****]を選択し、[ペアリング]を選択します。

機器の画面に本機のデバイス名[Canon BP-F600_*****]が表示されましたら、そのデバイス名を選択し、[ペアリング]を選択してください。これでペアリングは完了です。

※その他の指示が表示される場合は、その指示に従ってください。

6. プリンターの使用方法

この章では、印刷するときには使用できる用紙の種類、用紙のセット方法、印刷の開始、プリンター部のメンテナンスについて説明します。

1. 使用できる紙について

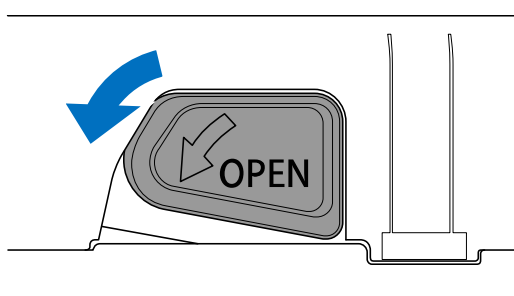
重要

プリンターの用紙の搬送は、キヤノン純正用紙を基準に設計されています。キヤノン純正用紙以外を使用した場合、紙送りや印刷等に動作不良が発生する場合があります。キヤノン純正用紙をお使いになることをお勧めします。

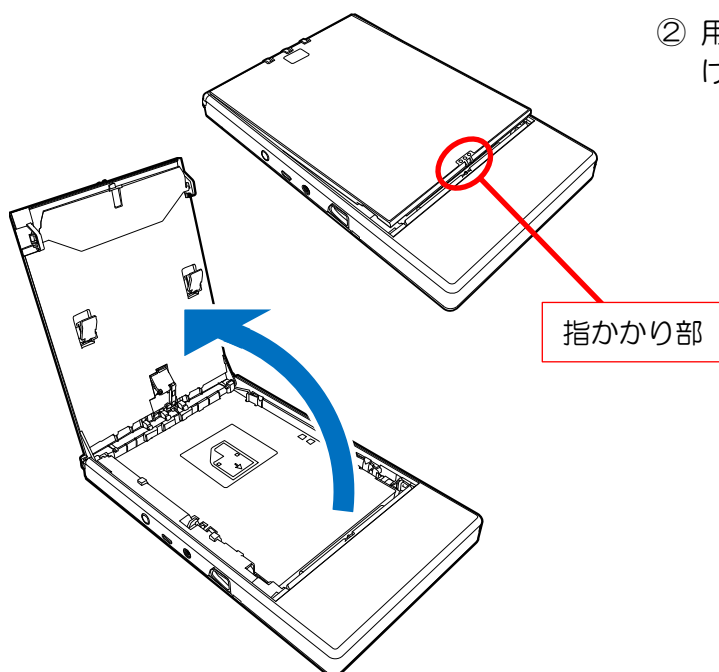
純正用紙	キヤノン	感熱紙	普通紙	KS-A6011
	キヤノン	感熱紙	高保存紙	KS-A6021

- キヤノン純正用紙を使用した場合でも、気温の変化により印刷位置がずれる場合があります。また、プラテンローラーの収縮や摩耗により印刷位置がずれる場合があります。

2. 用紙カバーの開け方

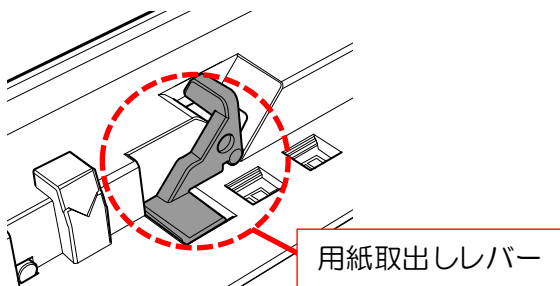


- ① 本機の側面にある用紙カバーロック解除レバー(以下レバー)を矢印の方向に押してください。
用紙カバーが少しだけ開きます。



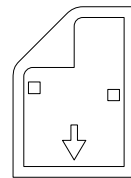
- ② 用紙カバーの中央端の指かかり部に指をかけて、矢印の方向に開けてください。

3. 用紙のセット方法

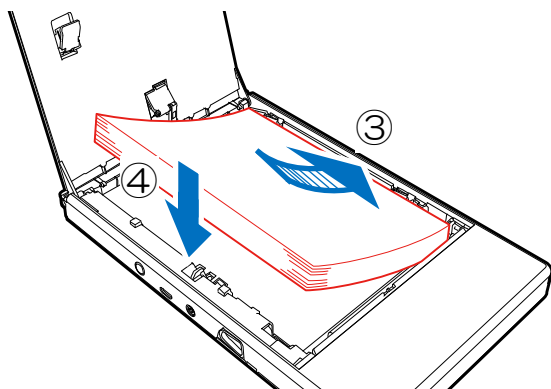


① 用紙をセットする前に、必ず用紙カセット部の用紙取出しレバーを、左図のように倒れていることを確認してください。

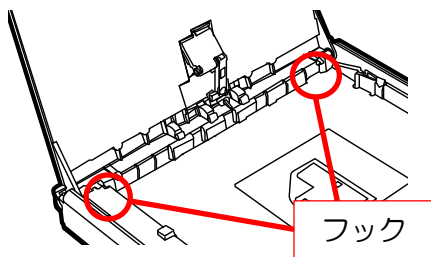
② 用紙のセット方向を確認してください。
用紙カセット部に右のマークが表示されていますので、このマークと用紙の方向を合せてください。



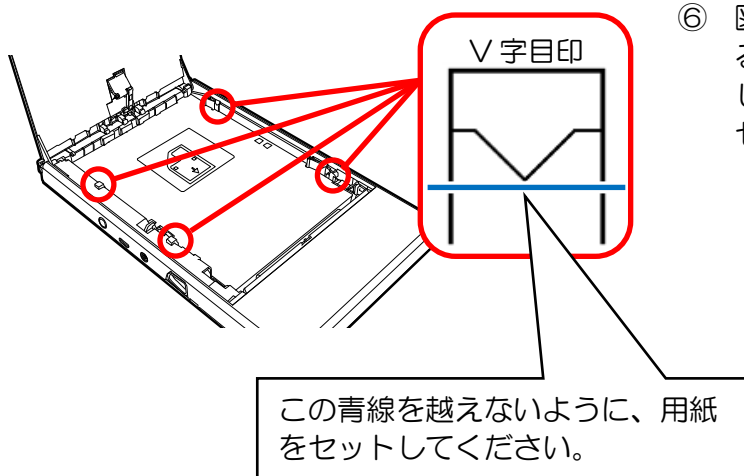
③ 用紙を用紙カセット部の右側に合わせてください。



④ 用紙の左側を図のようにセットしてください。



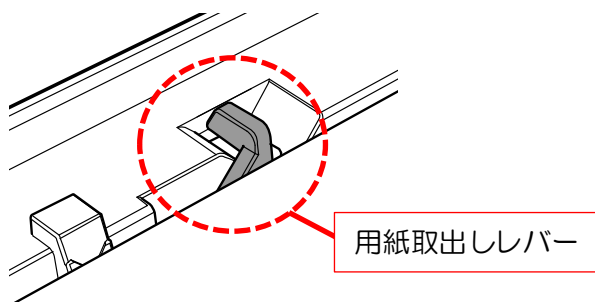
⑤ 用紙が用紙カセット部の上側2カ所のフックの下に納まっているかを確認してください。



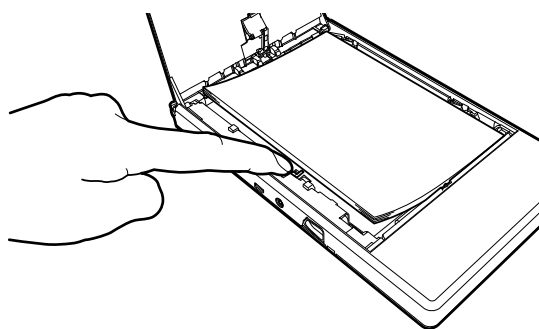
⑥ 図のように、用紙カセット内側に4カ所あるV字目印を越えないように用紙をセットしてください。
セットする用紙の枚数は50枚までです。

4. 用紙の取り出し方法

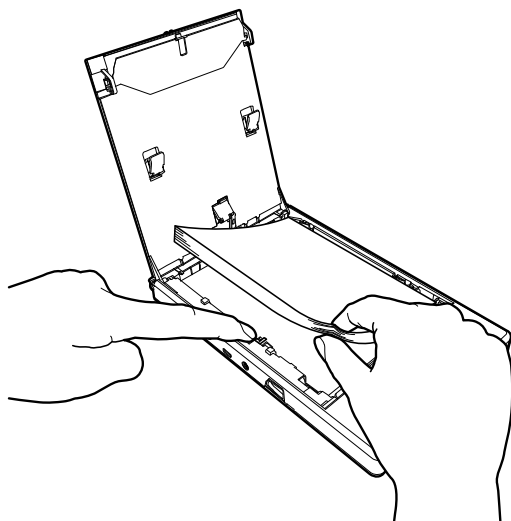
用紙の交換や保管、プリンターの清掃などのために、本機から用紙を取り出す場合は、以下の手順で取り出してください。



- ① 用紙を用紙カセット部から取り出すときは、左図の用紙取出しレバーを使います。

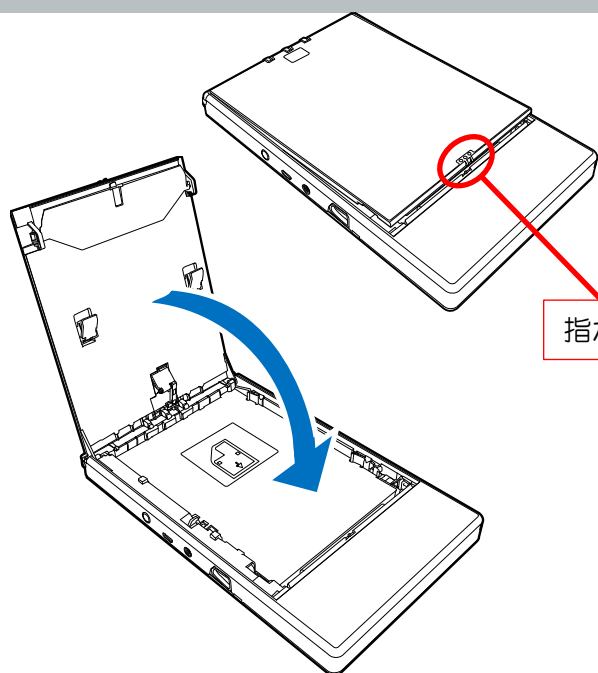


- ② 用紙取出しレバーを左図のように倒してください。
カセット部にセットされた用紙が少しだけ浮き上がります。



- ③ 浮き上がった用紙をつかんで取り出してください。

5. 用紙力バーの閉じ方



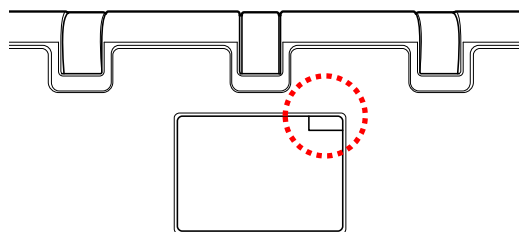
用紙力バーの指かかり部を押して、矢印の方向にしっかりと閉じてください。

指かかり部

注意

- 用紙力バーがしっかりと閉じられていなかった場合、印刷不良の原因となります。閉じた用紙力バーは浮き上がったりしていないかをご確認ください。

6. 用紙力セットの用紙残量の確認方法



セットされた用紙の残量が 15～20 枚になると、用紙確認窓の右上に左図のような黄色い目印が見えはじめます。

この目印があらわれれば、補給用の用紙をご準備頂き、必要に応じて用紙を補給してください。

重要

- 高品位の印刷を保つため、印刷用感熱紙は、キヤノン純正の用紙を使用していただくことをお勧めします (p.29)。なお、ラベル紙および普通紙は使用できませんのでご注意ください。
- 印刷する前には必ず用紙力バーの左右両側がしっかりと閉じられていることを確認してください。閉じられていない状態で印刷を行った場合、正常な印刷ができない場合があります。

注意

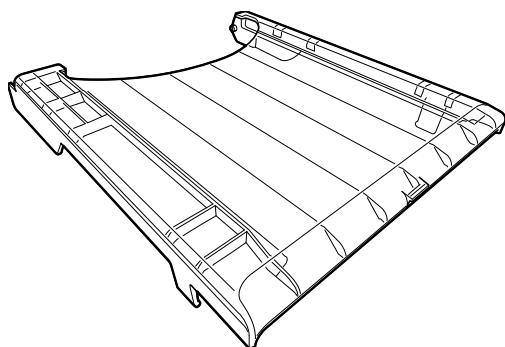
- 紙詰まりの処理などで内部を点検するときは、ネックレスやブレスレットなどの金属物が機械内部に触れないように注意してください。火傷や感電の原因になることがあります。
- 用紙を挿入するときや、紙詰まりを取り除くときは、用紙の端で手を傷つけないように注意してください。

メモ

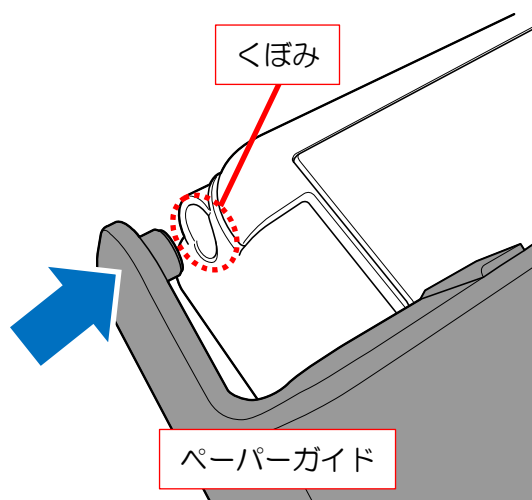
- 印刷した後に製品の一部の温度が高くなりますが、製品の仕様であり異常ではありません。

7. ペーパーガイドの使用法

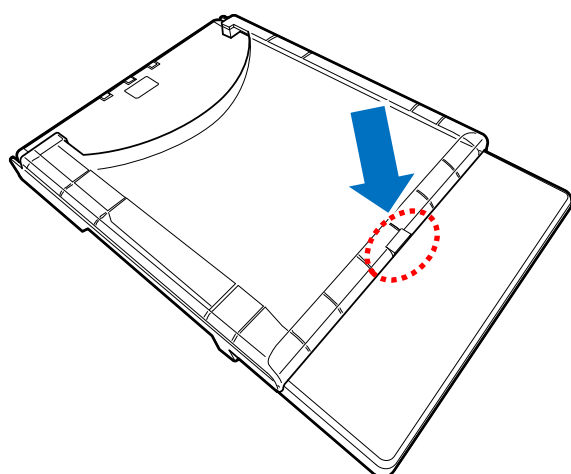
別売りのペーパーガイド PG-60 を取り付けることで、印刷された用紙を保持することができます。



1. ペーパーガイドを取り付ける



- ① プリンター上部の左右にあるくぼみに、ペーパーガイドの突起部をそれぞれはめ込みます。
※プリンターの表裏の向きにご注意ください。

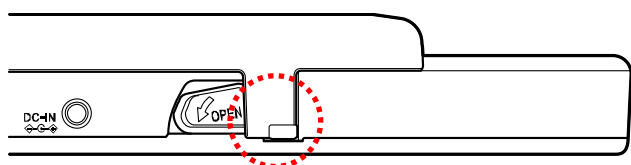


- ② 左図の矢印で示した位置を押して、しっかりと閉じてください。



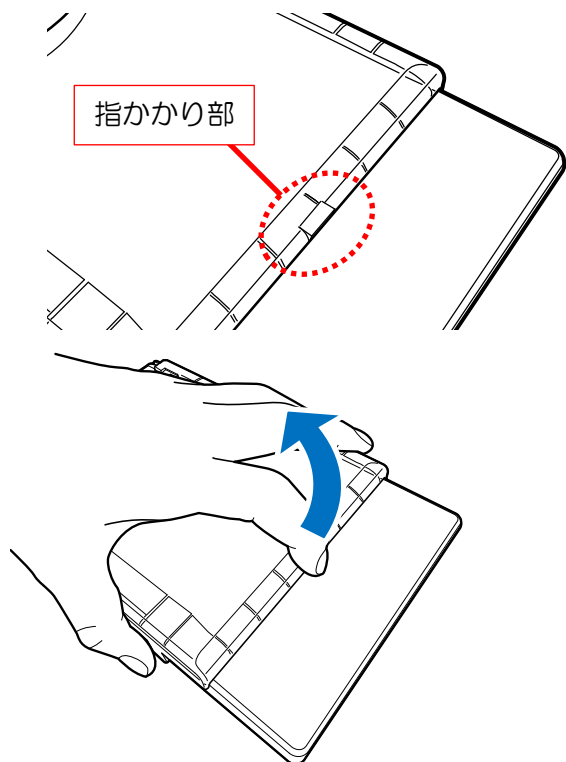
注意

- ペーパーガイドを閉じる際は、指を挟んでしまわないようにご注意ください。

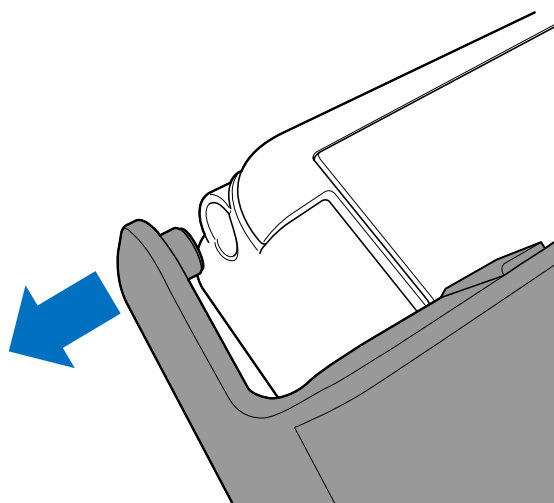


- ③ 左図のようにプリンターの左右にある引っ掛け部にプリンターカバーのフックがしっかりとかかっていることを確認してください。

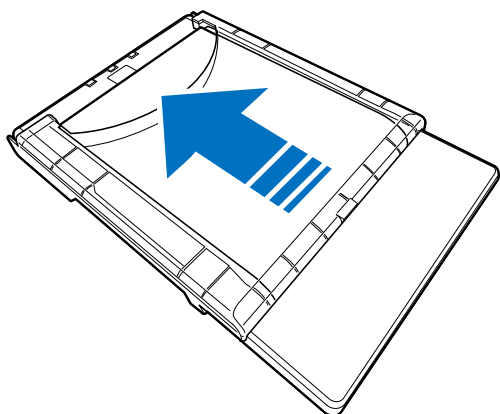
2. ペーパーガイドを取り外す



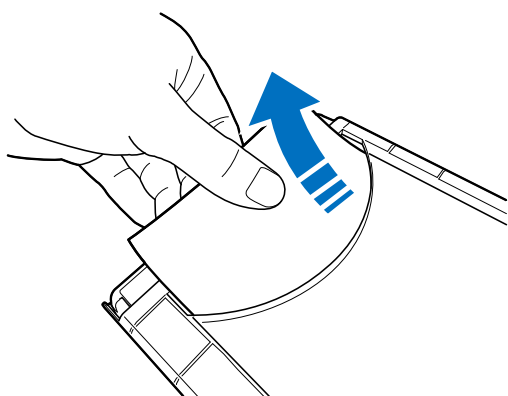
- ① ペーパーガイドの指かかり部に指をかけて、矢印の方向に開いて、左右のフックを外してください。



3. 用紙の取出し方法



① 印刷された用紙は、左図のようにペーパーガイドの中に出てきます。



② 出てきたか用紙を左図のように取り出してください。

重要

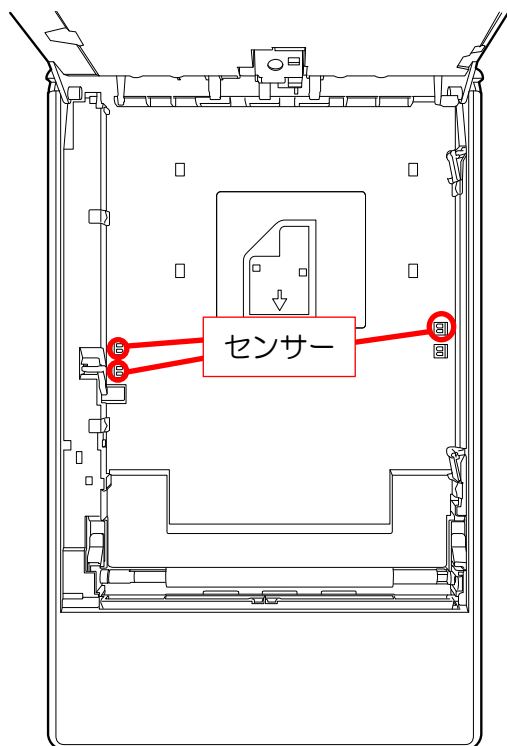
- ペーパーガイドに収納できる用紙の枚数の上限は下記のとおりです。

キヤノン	感熱紙	普通紙	KS-A6011	5枚まで
キヤノン	感熱紙	高保存紙	KS-A6021	5枚まで

8. 用紙カセット部の清掃方法

用紙カセット部に汚れが付きますと、印刷品質の低下の原因となってしまいます。必要に応じて下記の方法で清掃してください。

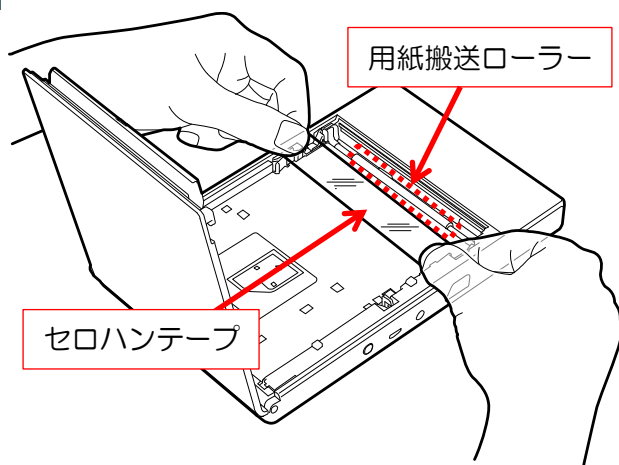
1. センサーを清掃する



用紙カセット部の内部にセンサーが3つ付いています。センサーに紙粉などの汚れが付着していると、用紙を正確に検知できなくなり、正しく動作しなくなる原因となってしまいます。

乾いた綿棒でセンサーに付着した汚れを取り除いてください。

2. 用紙搬送ローラーを清掃する



用紙搬送ローラーに紙粉などの汚れが付着していると印刷不良や用紙搬送不良の原因となってしまいます。

用紙搬送ローラーに付着した汚れは、左図のようにセロハンテープを使って取り除いてください。

また、ローラーを手で回してローラー全体を清掃してください。

7. こんなときは（Q&A）

Q

電源ボタンを押しても、本機の電源表示ランプが青色に点灯しない。

A

電源表示ランプが青色で点滅している場合は、取り付けられているバッテリーパックの電気容量の残量が少なくなってきました（ローバッテリーの状態）。

AC アダプターまたは USB 充電ケーブルでの充電、もしくは充電されたバッテリーパックを取り付けてください。

それでも表示がかわらない場合は、バッテリーパックの交換の時期が近づいています。お買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせください。

Q

AC アダプターまたは USB 充電ケーブルを使って本機に取り付けられたバッテリーパックを充電しているときに、本機の充電表示ランプが点灯しない。

A

①. AC アダプターが正しく本機に取り付けられているか確認してください。

②. 正しく AC アダプターまたは USB 充電ケーブルが本機に取り付けられているにもかかわらず、充電表示ランプが点灯しない場合には、AC アダプターまたは USB 充電ケーブルを本機から一度取り外し、再度取り付け直してください。

Q

充電中にバッテリーパックが少し熱を帯びる。

A

充電時には機器に熱を帯びることがありますが、異常や故障ではありません。

Q

新品のバッテリーパックなのに使用できる時間が短い。

A

はじめて使用するバッテリーパックは、バッテリーパックの特性により十分に充電しても使用時間が短いことがあります。数回充放電を繰り返すことにより、所定の時間使用できるようになります。

Q

長い期間保管していたバッテリーパックが使用できない、また使用できる時間が短い。

A

バッテリーパックを長い期間保管した後にご使用になる場合には、バッテリーパックの特性によりご使用になれなくなったり、十分に充電しても使用時間が短くなったりすることがありますが、異常や故障ではありません。定期的に充電／放電することをお勧めします。



正しく印刷できない。または全く印刷できない。



- ①. 印刷用紙が正しくセットされているか確認してください。
「用紙のセット方法」(P.30)を確認してください。
- ②. スマートデバイスと Bluetooth 接続で接続していた場合は、接続が切れていないか確認してください。
接続やペアリングが切れてしまっている場合は、「Bluetooth のペアリング方法」(P.27)を確認し設定し直してください。
- ③. バッテリーパックを十分に充電してください。
「充電方法」(P.24)を確認してください。
電源表示ランプが青色で点滅している場合は、取り付けられているバッテリーパックの容量が少なくなってきました(ローバッテリーの状態)。AC アダプターまたは USB 充電ケーブルでの充電、もしくは充電されたバッテリーパックを取り付けてください。
それでも表示がかわらない場合は、バッテリーパックの交換の時期が近づいています。
お買い上げの販売店または担当営業にお問い合わせください。
- ④. 用紙カバーがしっかりと閉められているかを確認してください。
「用紙カバーの閉じ方」(P.32)を確認してください。

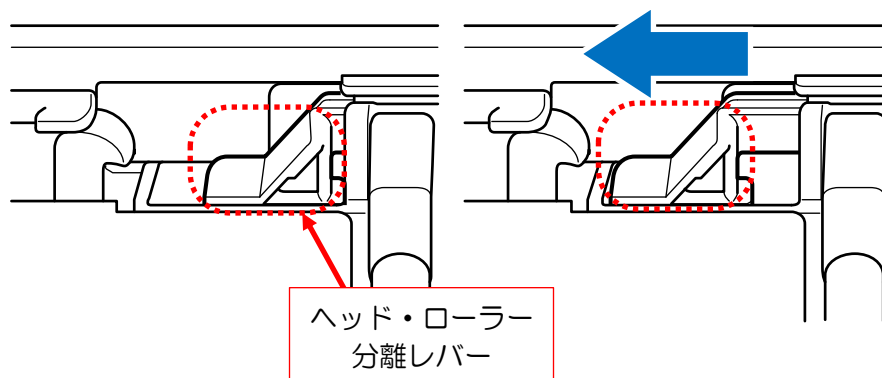
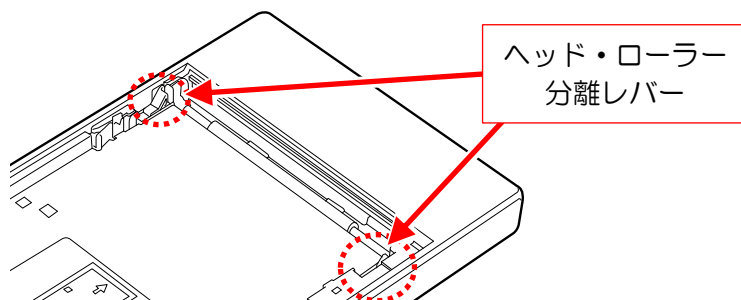
Q

用紙が搬送されない。

A

以下のいずれかの対応を取ってください。

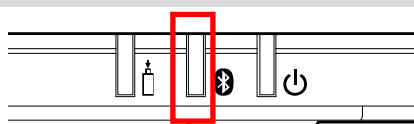
- ①. 用紙搬送ローラーに汚れが付着していないかを確認してください。
付着した汚れにより、用紙が搬送されにくくなっている可能性があります。
- ②. ヘッド・ローラー分離レバーをスライドし、つづいて用紙カバーを閉じてください。
サーマルヘッドとプラテンローラーの間隔が詰まってしまう、用紙が搬送されにくくなっている可能性があります。



スライドしたレバーは、用紙カバーを閉じると元の位置に戻ります。

Q

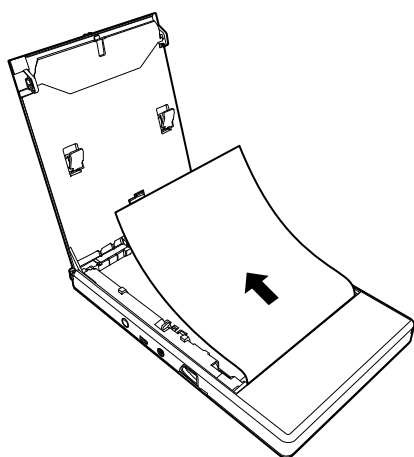
用紙が詰まってしまった。

A

モード表示ランプ

紙詰まりが発生するとモード表示ランプが赤色に点灯します。

以下の手順に従って詰まった紙を取り除いてください。



- ① 用紙カバーを開いてください。
- ② 詰まってしまった用紙をゆっくりと引き抜いてください。
用紙を手でつかんで前後引き抜きやすい方向から、ゆっくりと破れないように引き抜いてください。
- ③ 用紙カバーを閉じてください。
赤色に点灯していたモード表示ランプが、青色または緑色になりスタンバイモードに切り替わります。

8. 製品仕様

1. 本機の仕様

機種名		モバイルプリンター
型式		BP-F600
対応OS		Microsoft® Windows® 8.1/10 Android 5.0以降※4
プリンター制御コマンド		ラスタグラフィック（イメージ）
表示部		電源表示ランプ : 青 モード表示ランプ : 青・緑・赤・オレンジ・白 充電表示ランプ : 緑・オレンジ
印刷仕様	印刷方式	ラインサーマルヘッドによるダイレクトサーマル印刷方式
	印刷解像度	300dpi × 300dpi
	印刷領域	A6カット紙：97.5 × 140.6mm
	印刷速度	約18秒/枚、または8mm/秒※2
	満充電からの印刷可能枚数	連続印字約50枚（印字率8%）※2
用紙	サイズ(W×H)	A6（105 × 148mm）
	最大積載枚数	50枚
	純正用紙※3	キヤノン 感熱紙 普通紙 KS-A6011 キヤノン 感熱紙 高保存紙 KS-A6021
インターフェイス	Bluetooth®※4	Ver.2.1 + EDR Class2 SPP（シリアルポートプロファイル）、iAP2
	USB※5	Full Speed（マイクロBタイプ、ペリフェラル）
電源		リチウムイオンバッテリー BA-30※3
温度条件（動作時）		0 ～ 40℃
湿度条件（動作時）		10 ～ 80%
本体寸法(W×D×H)		130 × 205 × 18.5mm（突起部を除く）
質量		490g（バッテリーパックおよび感熱紙50枚を含む）

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

※1 :Android の対応は、SDK によりアプリケーション開発が必要です。

※2 :25℃環境下において、満充電状態の新品バッテリーパックで USB から所定の印字率で連続印刷した場合。

※3 :消耗品はキヤノン純正品のご使用をお勧めします。

※4 :Bluetooth はその権利者が所有している商標であり、キヤノン電子株式会社はライセンスに基づき使用しています。

※5 :USB 接続は Windows のみ対応です。

2. 同梱品および消耗品の仕様

バッテリーパック BA-30	
使用電池	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	7.4V
公称容量	1150mAh
充電方法	AC アダプターまたは USB 充電ケーブルを使用
充電可能温度	5℃ ～ 40℃
充電時間	ACアダプター：常温下約3時間で満充電 USB充電ケーブル：常温下約12時間で満充電
質量	約55g

予告なく製品の仕様を変更することがあります。

ACアダプター	
電源	AC100V ～ 240V、50/60Hz
出力電圧	公称 DC8.4V 1.5A
消費電力	29VA (100V) ～ 39VA (240V)
使用温度	0℃ ～ 40℃
外形寸法	約52 × 29 × 90mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約135g (ケーブル除く)

予告なく製品の仕様を変更することがあります。